



よりよい医療サービスを提供できるよう、
スタッフ一丸となって頑張ります。

新人職員が
入社しました！



※撮影時のみマスクを外しています。

一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院 / 在宅支援リハビリテーションセンターぎんや 広報誌

ぎんやんにき通信

「銀屋んにき」/長崎弁で銀屋周辺の意

一般社団法人是真会 理念

地域リハビリテーションを推進し、
地域に貢献する

「障害のある子供や成人・高齢者
とその家族の人としての尊厳を守り、
住み慣れたところで安心して、
その人らしく、生き生きと生活してい
けるように質の高いリハビリテー
ションサービスを提供する」という
「地域リハビリテーションの理念」の
実現を法人の理念として掲げる。

編集後記

長崎は坂や階段がとにかく多いです
ね。取材先では、利用者さんと向き合う
スタッフの姿に刺激を受け、訪問リハの
必要性を一層感じました。表紙は長崎ら
しい住宅地の写真です。斜面移送シス
テムという小型リフトが住民の足となっ
ています。誌面作成に当たりご協力頂いた
皆様、この場を借りて改めてお礼を申し
上げます。

一般社団法人 是真会
長崎リハビリテーション病院
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

〒850-0854 長崎市銀屋町4番11号
TEL.095-818-2002
FAX.095-821-1187

発行/一般社団法人 是真会
2023年7月 vol.20
企画・編集/一般社団法人 是真会



番外編!

訪問リハスタッフの カバンの中身

大きなカバンを背負って出発する
訪問リハスタッフ。そのカバンの中身は!?



検査・測定 のための道具

利用者さんの状態
を確認し、リハを実
施しています。



血圧計、聴診器、パルスオキシ
メーター、体温計、アルコールスプ
レー、メジャー、角度計

自宅環境を 整えるための道具

ご自宅で転ばない
ように工夫したり、
必要な物品を検討
したりします。



滑り止めマット、結束バンド、
工具メジャー、養生テープ、福
祉用具カタログ

ICT(情報通信技術) の導入

利用者さんのリハ
情報などを管理・
共有しています。業
務の相棒です。



スマートフォン、
PC

◆ 診療実績・施設基準実績 令和5年1月～令和5年6月(6カ月間)

患者数	
新規入院患者数	261人
退院患者数	288人
外来患者数(延べ)	2,376人

新規入院患者数 疾患別人数・平均在院日数		
疾患名	疾患別人数	平均在院日数
脳血管疾患	172人	104.4日
運動器疾患	74人	62.8日
廃用症候群	13人	41.8日
適応外疾患	2人	40.4日

新規入院患者内訳			
	男	女	合計
人数	124人	137人	261人
65歳～74歳の割合	23.4%	18.2%	20.7%
75歳以上の割合	51.6%	65.7%	59.0%

在宅
復帰率

96%

重症患者
割合

47.5%

リハビリ
テーション
実績指数

46.38



百段階段(長崎市水の浦町)



一般社団法人 是真会
長崎リハビリテーション病院
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや

vol.20
2023.7

訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは？
その人が自分らしく暮らすために、それぞれの地域に向いて、リハビリテーションの立場から行われる支援です。 (一社)日本訪問リハビリテーション協会ホームページより参照

利用者さんやご家族にとって、退院は新たな暮らしのスタートとも言えます。
今号では、そんな退院後の生活をサポートする「訪問リハビリテーション銀屋」についてご紹介します。



訪問リハビリテーション銀屋

訪問リハビリテーション銀屋は、在宅支援リハビリテーションセンターぎんやの一部です！

2009年開設以降の利用者 **1904** 名
令和4年の利用者 **144** 名
訪問リハスタッフの数 **15** 名
※令和5年6月1日時点

訪問リハでは、その人らしく
楽しみや役割をもって生活できるよう支援します！

管理者あいさつ

「障害を持った方々が、住み慣れたところで、その人らしい在宅生活ができるように、様々な専門家が協力して支援を行う」。これが当センターの使命です。
「地域につなぐ」、「地域とつながる」を大切にしています。

センター長 松坂誠應



Q&A 訪問リハビリテーションの疑問を解決

◎ どんな人が利用できるの？

A 日常生活、外出、介護などに不安がある方

◎ 利用を開始した後どうなるの？

A 利用者さんと一緒に目標を立てます。ご利用時の様子は、随時ケアマネジャーと情報共有し、ヘルパー等の他事業所のスタッフとも連携を図っていきます。利用者さんやご家族がイキイキと生活できるように、目標達成までしっかりサポート致します！

◎ 誰に相談すればいいの？

A 担当のケアマネジャーにご相談ください。ケアマネジャーから当事業所に連絡が入ります。
※入院中の方以外もお申込み可能です。

◎ 利用までの流れは？

A QRコード(ホームページ)よりご確認ください。



利用者さんと一緒に
目標を考える

～目標の例～

- ・家族と上手く喋れるになりたい。
- ・手料理を家族に食べてもらいたい。
- ・趣味の釣りに行けるになりたい。

自宅での
リハ開始

目標達成すると
訪問リハ卒業

入院中から情報共有を行います！
これから訪問リハを利用する方について、
動画を見ながら情報共有を行っています。

入院スタッフ

訪問スタッフ

問い合わせ先

☎095-821-1124



利用者さんと各専門職のとある日の関わり

身体の状態や生活環境などに合わせた練習をチームで行います。
より豊かな生活が送れるよう利用者さんやご家族に対し、支援を行います。

理学療法士

外出できるように
階段昇降や自宅の周りを
歩く練習をしました。



作業療法士

通いのサービスを利用中に活動の
ひとつとして行えるように、
刺し子を練習しました。



言語聴覚士

ご家族の介助で
安全に食事ができるように、
実際に食べる
練習をしました。



スタッフひとことメモ

実際の生活の場で、
・動作の練習
・環境の調整
・家族など関わる方への指導
これらを組み合わせながら支援します。



食事は
ミキサーにかけて
食べやすくしています。

外出支援

外出が難しい利用者さん等を対象に、お花見や、ランタンフェスティバルなどに数回、外出支援を実施しています。五感で季節を感じ、外出先で様々な刺激を受けることで、他者との関わりや活動、社会参加などに対する興味・関心が広がるきっかけになることを期待しています。



病棟で
退院後の生活を
伝達しています。

入院スタッフとの
情報共有はスタッフ
の学びの場となり、
患者さんや利用者
さんの支援に活かし
ています。

利用者さんの声

(訪問リハを8カ月利用中)

退院直後は思っていた以上にできないことが多くて困りました。訪問リハでの練習や家族のサポートもあり、近所の坂を上り下りできるようになりました。今後は趣味のゴルフができるよう頑張りたいです。



ご家族の声

コロナ禍で面会制限があり、入院中は退院後のことを主人ともしっかり話せていたと思います。退院前に手すりやベッドなど環境を整えてもらいました。退院後、訪問リハではレベルに合った練習ができていたので助かっています。今後は、主人が同年代の人と交流できるような場があればいいなと感じています。

